

Citation: Jones AP, Camargo CAJ, Rowe BH. Inhaled beta2-agonists for asthma in mechanically ventilated patients. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2011, Issue 4. Art. No.: CD001493. DOI: 10.1002/14651858.CD001493.

CRG名: Cochrane Airways Group

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 2 SEP 2011

Clib issue No.; N/U: 2011 Issue 12; Update

背景: 急性の重度喘息患者のうち少数は、挿管および陽圧換気を必要とする。自発呼吸の被験者を対象にした急性喘息に対する吸入気管支拡張薬の有益な効果は十分確立されているが、挿管され、換気管理を受けている患者に対する吸入ベータ2作動薬に関しては、依然として重要な疑問が残されている。

目的: 挿管および機械的換気を必要とする喘息患者に対する吸入ベータ2作動薬の効果を検討すること

検索戦略: Cochrane Airways Group Specialised Registerからランダム化比較試験(RCT)を検索した。原著者および本分野の専門家に連絡を取って適格な研究を同定し、既知のレビューおよび論文から参考文献を検索した。最新の検索は2011年9月までである。

選択基準: 挿管され、陽圧換気を受けている急性喘息成人患者を対象とした、ランダム化比較臨床試験を選択した。ベータ2アドレナリン作動薬投与患者と、プラセボ、無投薬、または「標準的」治療のいずれかの対照群を有する研究を選択した。

データ収集と分析: 2名のレビューアが同定したすべての参考文献を別々に評価した。2名のレビューアが関連性があると思われるあらゆる論文の全文を別々にレビューした。

主な結果: 1999年の最初の検索によって152件の抄録を得た。これらのうち、4件が可能性のある試験として同定された。4件の試験はいずれも本レビューの選択基準を満たさなかった。2011年9月までのさらなる検索によって、その後追加された117件の参考文献を同定したが、いずれも選択基準を満たさなかった。

レビューアの結論: 関連性のあるランダム化比較試験を認めなかった。したがって、挿管され換気を受けている喘息被験者における吸入ベータ2作動薬の使用に関する現在の行為を支持するまたは反対するエビデンスを提供するデータは、まだ得られていない。

(監訳 林 啓一)

翻訳公開日: 2012年4月10日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。